落語と新内の会

第三十一回 長崎奉行所新内寄席

令和三年（二〇二一）九月二六日〈日〉

時　間　十五時 開演（十四時半 開場）

場　所　長崎歴史文化博物館一階ホール

木戸銭　前売り二〇〇〇円（当日二五〇〇円）

◆演目◆

新内　「明烏夢泡雪～雪責め～」　新内枝幸太夫

落語　「ちりとてちん」　桂まん我

対談　桂まん我×新内枝幸太夫　お楽しみトーク

新内枝幸太夫

ゲスト　桂まん我

長崎枝幸会 発表会

長崎枝幸会

◆演目◆

古都の四季　応挙の幽霊　勧進帳

一の糸　長崎ぶらぶら節　黒田節

勝なのり　福助　子宝三番叟（こだからさんばそう）

◎主催：長崎歴史文化博物館　協力：長崎枝幸会

お申し込み
お問い合わせ

〒850-0007　長崎市立山1丁目1番1号

TEL.095-818-8366　FAX.095-818-8407

長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture

第三十一回 長崎奉行所新内寄席

落語と新内の会

新内とは、初代鶴賀若狭掾が宝暦・明和年間（1751～1771）に浄瑠璃の一流派である「新内節」を創始したことに始まります。初期には歌舞伎の伴奏音楽として用いられたこともありますが、のちに素浄瑠璃に変化し、更には「流し」と呼ばれる独特の街頭芸を生むにいたりました。吉原を中心に一枚一挺で流す新内節は、きわめて歌う要素のつよい浄瑠璃であり、当時の江戸情緒を代表する庶民的な音楽として親しまれました。

今回の新内寄席では、ゲストの桂まん我さんをお招きし、落語と新内のコラボレーションをお楽しみいただきます。

新内弥栄派 家元

新内 枝幸太夫

昭和54 年、新内勝之輔の芸名でプロデビュー。
その後、新内枝幸太夫と改名。独立し弥栄派を立て初代家元となり全国に稽古場を持ち弟子の育成に励む。
平成16年からは長崎放送NBCラジオの番組を持ち、新内や日本の音楽、特に三味線をPRしながら地域の人達とふれあう文化活動を行う。長崎歴史文化博物館で出稽古を行い後進の指導に当たる。

落語家

桂　まん我

1999年　四代目桂文我に入門し、「子ほめ」で初舞台を踏む。
2007年　文化庁芸術祭新人賞受賞、第4回東西若手落語家コンペティション優勝。
2009年　東京、名古屋、大阪、金沢で桂まん我独演会を開催
2011年　NHK新人演芸大賞受賞
そのほかにもテレビやラジオにて活躍中。

令和三年（2021）

新内出稽古

当館展示室での稽古の様子をご覧いただけます。

※観覧は無料ですが町屋で行う際は常設展示室の入館料が必要です。
※予定は変更になる場合があります。

〈場所〉2階 歴史文化展示ゾーン内 町屋
または 2階立山亭
〈時間〉13:00～17:00頃（予定）

9月	23日（木祝）・24日（金）・25日（土）
10月	12日（火）・13日（水）・14日（木）
11月	8日（月）・9日（火）・10日（水）

〒850-0007 長崎市立山1丁目1番1号　TEL.095-818-8366　FAX.095-818-8407　http://www.nmhc.jp

長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture